



第76号
9月定例会
平成28年 10月20日



こんにちは

豊丘村議会 です



中学校 輝丘祭
10,000個のアルミ缶で
繋 説明はP.7

9月定例会の様子 2~3ページ
 27年度決算の質疑決算から 4~5ページ
 補正予算の質疑から 6ページ
 請願・陳情 7ページ
 12人が一般質問 8~20ページ
 北部・広域から 21ページ
 各委員会の報告 22~25ページ
 みんなのページ 26ページ

平成28年 第3回定例会 27年度決算認定される

ふるさと納税7億599万円余 財政状況は引き続き健全

第3回定例会

平成28年第3回定例会は、9月1日から30日まで、30日間の会期で開かれた。

開会日には、条例案5件、補正予算案5件、平成27年度決算6件、人事案2件、報告1件、陳情3件が上程され、条例案2件は可決、教育委員に唐澤武彦氏（河野）と菅沼麻里氏（神稲）を再任する人事案は同意、その他の案件は委員会に付託された。

閉会日には、補正予算案1件、契約案1件、同意案1件が追加上程された。河野コミュニケーションセンターを7984万円で契約する案等、全ての議案は可決され、故毛涯章平氏を名誉村民とする案は同意された。

一般質問は2日間で、12人が行った。

27年度決算の概要

1 財政指標からみた豊丘村の状況

平成27年度の一般会計と5本の特別会計を含む
総計決算の歳入額は77億3355万円、歳出額は

66億5792万円、差引額は10億7563万円の黒字となった。（次ページ参照）

財政指標について、経常収支比率は73・0%、実質公債費比率は3・8%、将来負担比率は0%で、財政状況は健全運営となっている。（7ページ用語解説参照）

一般会計について、歳入額は57億341万円、歳出額は47億4368万円、（次ページ参照）差引額は9億5973万円の黒字となった。この額から繰越明許費1191万円を引いた実質収支額9億4782万円が、次年度への繰越金となる。

歳入は、ふるさと納税7億599万円余、基金（貯金）からの1億5035万円繰入などにより、自主財源割合が48%（前年45%）となった。（次ページ参照）

2 27年度一般会計での主な事業

◎新給食センター完成 ……2億5991万円
前年からの学校給食センター建設工事が完了。総額は4億2949万円。

◎未満児棟建設・園駐車場拡充 ……1億4304万円

北保育園の未満児棟建設9190万円、中央保育園の駐車場拡充5114万円を行った。

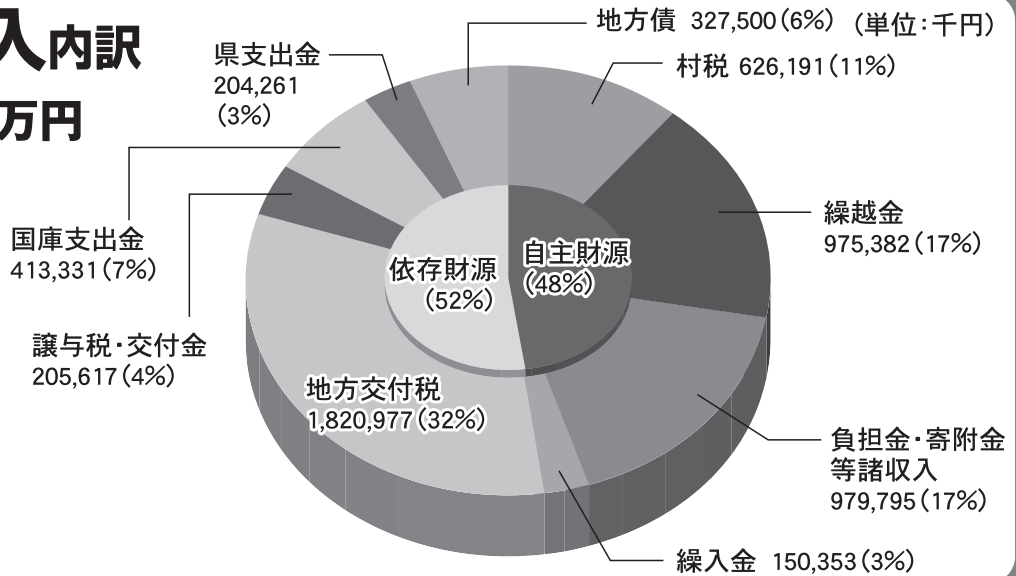
◎てっぺん整備・りんごっ子拡充…8346万円
てっぺん公園整備

5963万円、りんごっ子公園あづまやなど拡充2383万円を行った。



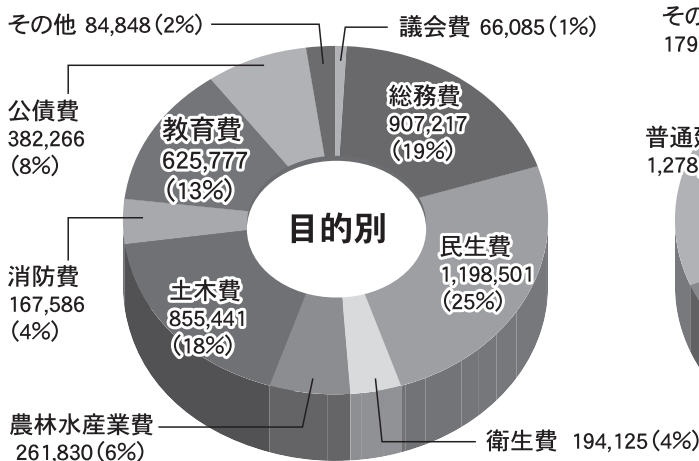
平成27年度一般会計決算 歳入歳出状況

一般会計歳入内訳 57億341万円

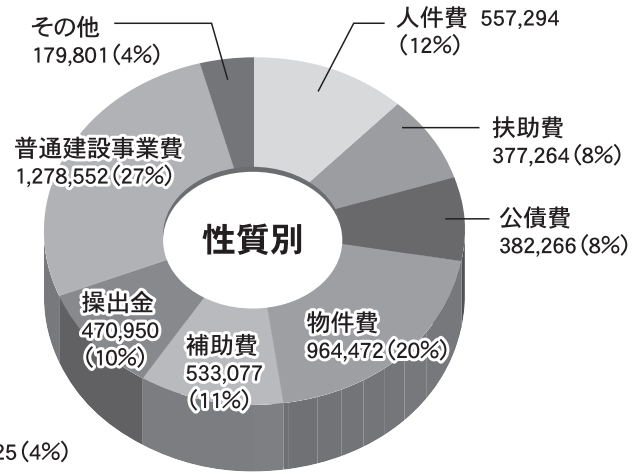


一般会計歳出内訳 47億4,368万円

(単位:千円)



【行政の目的による分類】



【経済的な性質による分類】

各会計の決算は

会計種別	歳入 (千円)	歳出 (千円)
一般会計	5,703,407	4,743,676
国民健康保険特別会計	667,490	641,824
後期高齢者医療特別会計	67,572	67,565
介護保険特別会計	809,666	772,157
簡易水道特別会計	173,747	143,092
下水道特別会計	311,666	289,609
合計	7,733,548	6,657,923

格差に意見集中 効果大 =決算質疑から=

3 日間にわたる決算審査では、理事者として村長他、係長以上の出席により、説明を受け質疑を行った。

一般会計をはじめ特別会計について、質疑応答の中から、一部を記載する。

なお各課の答弁は課長のみではないので、それぞれの課名を表記する。

期日前投票手続きを楽に

|| 次回検討 ||

平澤議員 期日前投票の理由記入欄を入場券に設けてはどうか。

選挙管理事務局 次回検討したい。
吉川議員 投票率向上

保育士不足と嘱託の待遇改善を

|| 働き易い職場に ||

片桐(忠)議員 嘱託職員報酬が6月議会の補正予算専決処分で663万円減額された理由は。又、超過勤務が増えた要因は。

子ども課 年度途中で増える傾向にある0歳児に備えて予算付けしたが、保育士を増やせなかったので補正減とした。超勤手当が増えるのは、仕事を持ち帰れないのと、行事の準備等が主な理由。

片桐(忠)議員 それは仕方のないことで、今後も続くのか。
子ども課 なるべく時間内に終わる努力は続けたがいし、保育士不足の解消もしたい。

松下議員 正規と嘱託の待遇格差は以前からの問題。嘱託からの正規採用の今後と職員確保のための対策は。
村長 今年度退職した

に向けて、他の自治体が行っている投票証明書を利用したサービスを検討は。

選挙管理事務局 他町村の様子を見ながら。

正規1名分は取る。嘱託からも優秀な人は正規採用するが様子を見ながらとしたい。

川野議員 正規の賃金が年間約522万円。嘱託は238万円で大きな差がある。どう考えるか。

村長 正規の重い仕事に耐えられない人や、嘱託の働き方を望む人もいる。正規になりたい人もいる。働きやすい職場にしたい。

ランドセル補助は

全員強制なのか

|| 強要はできない ||

吉川議員 対象者数より補助が少ないが。

ランドセルを使ってくれりと嬉しい。

教育委員会 辞退希望は受け付ける。毎年何人が辞退あり。

松村委員長 補助制度は、当時の3保育園の保護者会と村の話し合

吉川議員 前は出来るだけ統一の方向だったが、今は個の意思を尊重するのか。

竹村議員 約15年前の倍の価格。半額13000円の負担も大変。お古で良いという人も

村長 強要は出来ないが、村の子供として学校のマークが入ったラ

で良い方向へ。



北小マークのランドセル

正規と嘱託の待遇 福祉タクシーは相乗

消防費は交付税の中で適正か

|| ほぼ適正 ||

井原議員 火災時に穴の開いたホースが使用されていたがホース購入は。

は地方交付税の中で適正に計算されているか。広域消防負担金も適正な計算か。

総務課 宝クジ助成金で全12班へ1本ずつ配置。操法の水出し等で傷み易いが、高額なので全ての交換は難しい。唐澤(啓)議員 消防費

総務課 宝クジ助成金等の特定財源も入っており、一般財源から見れば適正と考える。滝川議員 団員確保が難しい中、手当等お金の流れを分かり易く。総務課 団員報酬は、訓練出勤単価を出席人数に依りて、各分団へ配分し分団で必要経費を引いたものを手当てとして各団員へ渡している。

福祉タクシー利用は減ったのか

|| 利用者の相乗り効果 ||

川野議員 利用区間拡大で1,400円がある割に利用額が少ないが。健康福祉課 平成26年

度と比べ減っているが、相乗り効果と考える。良い制度として利用されている。

食べられる肉は事業化を

|| 問題は多いが検討 ||

吉川議員 有害鳥獣は食べられるような事業化を。産業建設課 難しい問題は多々あるが、引き

続き検討したい。唐澤(健)議員 捕獲数が減った理由は。産業建設課 防護柵の効果ではないかと思う。

村営バス利用者の意見を聞いて

|| 公共交通会議で ||

竹村議員 平均乗車人数は1便で2人未満。

経費削減出来る部分はある。利用者の意見がある。

井原議員 熊の処理

は。

産業建設課 猟期中は殺処分し、猟期外は麻酔銃で眠らせ山へ帰す。

片桐(忠)議員 ふるさと納税による税のマイナス分は。

税務会計課 申告をさ

他の自治体への

ふるさと納税者は

|| 13名 36万五千円 ||

れた方のみで、13名36万五千円。年1、2件だったが、27年は増えた。



水出しで行っている操法大会 (平成28年度)

28年度一般会計補正予算

「村の駅」用地に1億4,500万円 閉会日に緊急上程

補正予算案の概要

平成28年度一般会計補正予算は、定例会開会日の9月1日に上程された他、閉会日の29日、村の駅(仮称)の建設用地取得のための補正予算が追加された。議会予算委員会ではこの補正をめぐってはまず議員間討議を開催してから採決をとった結果、賛成多数で可決された。
尚、補正後の一般会計予算総額は48億4900万円となった。

はじめに議員間討議

村の駅(仮称)建設用地の土地代1億4500万円の補正予算が、緊急上程された背景には、税制面で有利な土地収用法の認定を受けられる見通しがあった事、国の補正予算債の適用を受けられる見通しがあった事、これらの有利な補助を受けられる為には、9月がタイムリミットであった事が大きな理由であった。

議会では予算決算委員会を開催、審議方法について協議した結果、結論を出す前に、まず議員間討議を行う事を方向付け、話し合われた。
その中では、「付帯決議に基づく法人の設立など、

繰越金は、9億4700万円に

歳入補正の主なものは、地方交付税確定により2800万円、平成27年度繰越金3億2200万円を繰越金として増額補正、これにより繰越金の総額は補正前と合わせ9億4700万円となった。

歳出では
◎集会所施設改修へ
会所建設に伴う補助率が、4月1日からの改正に伴う増額。中部三会

直の生産者組織が今だに出来ない。「などの意見が出され、補正予算の採決の結果、賛成多数で可決された。

所。東会所。



「村の駅」建設予定地 (林里)

- ◎壬生沢防災用毛布に、宝くじによるコミュニティ事業助成金180万円を活用
- ◎商工業振興資金預託金1280万円
- 豊丘村商工業振興資金として活用できる様、村と金融機関との間で、村が預託金を担保として預ける事で、その5倍返貸付けられる制度。村では今回の積み増しで預託金は、5000万円となった。

村の駅とよおか(仮称)敷地購入の概要

地目	面積(m ²)	予算額(千円)	備考
田	10,545	121,249	建設予定地補償費を含む
田	2,181	23,751	道路用地及び従業員駐車場
計	12,726	145,000	

臨時議会を開催

去る8月22日第1回臨時議会が開かれた。臨時議会では河野区民会館建設に伴う建設費が、資材高騰により当初7500万円の予算に対し、今回3000万円の増額補正を審議し、原案どおり可決した。

9月議会請願・陳情について

●請願 (25P 参照)

- 奨学金制度の充実等を求める意見書の採択を求める陳情

〈採 択〉

陳情者

日本労働組合連合会長野県連合会
会長 中山 千弘

●陳情 (24P 参照)

- 公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める陳情

〈採 択〉

陳情者

飯下建設産業労働組合連合会
会長 壬生 一

●陳情 (25P 参照)

- TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情

〈採 択〉

陳情者 みなみ信州農業協同組合
代表理事組合長 田内 市人

国会と政府に「意見書」を送付した。

用語解説

… 財政指標の関連用語

(2ページの参考に)

◎経常収支比率

地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)が占める割合。財政構造の弾力性を表す指標。

◎実質公債費比率

一般会計と特別会計を加えた公債費(利子も含めた借金の返済金)の標準財政規模(標準的な行政を行う予算規模・豊丘村はおよそ26億円)に対する

比率。過去3年間の平均値、資金繰りの程度を示す指標。

◎将来負担比率

一般会計と特別会計の将来負担すべき公債費から基金(貯金)を差し引いた額の標準財政規模に対する割合。

◎繰越明許費

支出が次年度になる費用。

◎自主財源割合

国・県にたよらない財源の比率。

表紙の写真

9月24、25日に行われた豊丘中学校輝丘祭に展示された、アルミ缶による作品。村内で集めた一万個のアルミ缶を使って輝丘祭テーマ「繫つなぐ」を表した。

裏表紙は、田村の明神公園に毎年同じ所に咲いている「まんじゅしゃげ」です。彼岸花ともいいます。



議員の意志表示一覧表 (全員賛成除く)

<平成28年9月 第3回 定例会>

○…賛成 ▼…反対

件 名	審議結果	竹	滝	平	片	唐	酒	吉	松	井	片	松	唐	川
		村	川	澤	桐	澤	井	川	下	原	桐	村	澤	野
		直	利	恒	忠	健	浩	明	亨	康	義	正	啓	孝
		子	秋	雄	彦	文	博	博	明	明	憲	三	六	子
予 算 平成28年度 豊丘村一般会計補正予算第4号 (村の駅用地買収費の補正)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○

一 般 質 問

12人の議員が村政を問う

【1日目】 9月14日

1. 吉川 明博 (9ページ)
 - ・24時間ソフトボール等スポーツ大会見直しについて
 - ・豊丘村6次産業化プロジェクト「村の駅とよおか(仮称)」について
 - ・リニア中央新幹線について
2. 川野 孝子 (10ページ)
 - ・豊丘村の安全・安心な飲料水の確保と今後の水道事業について
3. 唐澤 健 (11ページ)
 - ・奨学金について
 - ・消防団について
 - ・リニア工事に関して
4. 酒井 浩文 (12ページ)
 - ・認知症対策への取り組みについて
 - ・校庭・園庭等の芝生化について
 - ・起業支援事業について
5. 滝川 利秋 (13ページ)
 - ・リニア工事残土の処分候補地の県への報告について
 - ・ここ最近の村単による補助金、助成金制度設置の手法に異議あり
 - ・条例と規則の違いについて
 - ・水利組合ごとの境界調査を
6. 竹村 直子 (14ページ)
 - ・認知症と共に(友に)生きるための施策

【2日目】 9月15日

7. 井原 康明 (15ページ)
 - ・防災意識の指導について
 - ・防災設備の維持管理について
 - ・備蓄飲料水の有効利用について
8. 片桐 忠彦 (16ページ)
 - ・リニア対策の対応方法について
 - ・村の駅周辺の土地利用計画について
 - ・橋梁の長寿命化計画に伴う工事地元負担金の考え方について
9. 唐澤 啓六 (17ページ)
 - ・就学援助制度の改善について
 - ・介護保険について
10. 松下 亨 (18ページ)
 - ・平成27年度決算と今後の財政運営について
 - ・水道事業の現状と課題解決に向けて
11. 片桐 義憲 (19ページ)
 - ・本格化するリニア工事対応策は
12. 松村 正三 (20ページ)
 - ・コミュニティスクールの現状と今後について
 - ・健康長寿を6次産業化とともに



24時間ソフトボールの見直しについて

答 今年度も検討する

吉川 明博 議員

質問 今日は多くの方の傍聴をいただき誠にありがたい。
6月一般質問で答弁のあった昨年の参加チームへのアンケート結果についての説明を。
教育長 24時間ソフトボールの昨年まで参加をしていたチーム9チーム、参加できなかった9チームの全部で18チーム。回答、参加の9チームで5チームは是非継続すべき。もうやめられないではないか1チーム。昨年参加をしなかった9チームは、回答は3チーム。回答の中身は、1チームが是非継続すべき。2チームはもう一回考え直したら良いのではないかと。

質問 今後も続けていくと受け止める。よその町村、よその団体を招待する。豚汁等以前出していたが復活したらどうか。会場でソフトボールを見ながら懇

親会をやれると良い。検討を望む。近隣の市町村にスポーツ大会へのアンケート調査内容の説明を。
教育長 応援のメッセージと受け止める。当面30回の大会へ向けて頑張りたい。

道の駅とよおか(仮称)の進捗は

答 8月19日設計プロポーザルを審査

質問 道の駅直売所の準備委員会、発起人会、プロポーザル(提案)等について、今日までの進捗状況の説明を。
統括支配人 設計希望業者の技術提案のプロポーザル審査を8月19日にした。それに先立ち開設準備委員会は岐阜県の道の駅を3カ所、農産物直売所等の先進地の視察を8月4日に実施。施設面、運営面等見識を高める活動した。又、発起人会もプロポーザル審査に先立ち開催して、発起人全員の審査の観点の目通しを測り、意識を高めプロポーザル審査に臨んだ。

質問 何社程あったか。
統括支配人 6社から応募があり、1社辞退で5社提案。私たちに一番近い考えで出していた設計業者に決まり、違うところを擦り合わせる。

質問 選定の観点は何か。
村長 プロポーザル審査では、利用者から見た空間利用の提案として、心地よく過ごせ、長く滞在できる空間作り。運営施設や主な機能、村のオアシスとしての賑わいの場の空間作り等、比重を高くして審査した。地元の皆



道の駅とよおか(仮称)のイメージ図(正面)

様が利用しやすいという点、売り上げが上がる、長く居てくれる、居心地がいいだろう、を中心に。提案として適当な金額なところで決めた。それが決まったからといって、そのとおりを作るのではなく、色々な提案の中で良いところは上乘せして活かし一番良いものを作っていきたい。(リニア中央新幹線についての質問は割愛)



安全でおいしい水を確保する方法は

答 表流水の取り組みは巨額な費用がかかる

川野 孝子 議員

質問 表流水を飲料水として利用するには巨額な費用がかかるという事で可能性はゼロなのか。

質問 豊丘村は7つの井戸で飲料水を供給している。最近おいしくないという声をよく聞く。郷土沢川の水を飲料水として利用したい場合、クリアしなくてはならない問題点としてどんな事が考えられるか。

環境課長 表流水の占用という事で当然河川占用、水利権の取得等が必要となってくる。下流域の用水路、農業用水の堀越大井、中平井、田村大井等の関係の人たちの同意も必要となる。又、取水出来るようになったとしてもまず浄水場の建設が必要となる。1カ所で数10億円の予算が必要で水道事業者である村が行わなければならない。

「おいしい水」とは、「おいしく飲める水」のことです。

水質項目	水質基準値	おいしい水の要件	摘要
蒸発残留物	500mg/ℓ以下	30~200mg/ℓ	主にミネラルの含有量を示し量が多いと苦味渋味等があり、適度に含まれるとコクのあるまろやかな味がする。
カルシウム、マグネシウム(硬度)	300mg/ℓ以下	10~100mg/ℓ	ミネラルのなかで量的に多いカルシウムとマグネシウムの含有量を示し、硬度が低いとクセがないが、高いと好き嫌いがでる。カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦味を増す。
遊離炭酸	-	3~30mg/ℓ	水の中に含まれる炭酸ガスで、爽やかな味を与えるが、多く含まれると刺激が強くなる。
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	10mg/ℓ以下(注1)	3mg/ℓ以下	有機物量を示し、多いと渋味をつけて消毒用塩素の消費量も多くなる影響から水の味を損なう。
臭気強度(TON)	異常でないこと。	3以下	水源の状況等により、様々な臭いがつくと不快感がある。
残留塩素	-	0.4mg/ℓ程度以下	残留する消毒用塩素は、わずかに含まれている場合は気にならないが、濃度が高いと水にカルキ臭を与え水の味を損なう。
水温	-	最高20℃以下	夏季に水温が上がるとまずく感じられる。適度に冷やして飲むとおいしく感じられる。
環境条件	気温の高いとき、カラッとしていて湿度の低い時においしいと感じる。 健康状態の良い時、ノドが乾いている時、運動をした後においしいと感じる。 水を飲む容器、周囲の雰囲気等によっても微妙においしさが左右される。 においの感覚は朝が一番鋭敏なため、においがあれば、さらにまずく感じる。 体温と比較して、水温が20~25℃低い時に最もおいしいと感じる。		

おいしい水の要件

村長 伊那谷、豊丘村周辺も全体的に水量が不足していると言われている。リニア開通、三遠南信道に伴う人口増に対して水が足りるのか疑問視されている。いよいよ足りないという事になれば建設も必要になってくる事も否定出来ない。

質問 安全、安心な水に加えておいしい水の取り組みについて。

質問 安全、安心な水に加えておいしい水の取り組みについて。

質問 今後の水道事業として安全安心な水道

水の供給のためにも水道管の布設替えも大事

北部・南部の布設替えにどの位かかるのか

答 28億円かかる 長期的計画が必要

質問 今後のこの事業の見通しと財源確保をどう考えるのか。

村長 豊丘村の人口が少なく収入が上がらない事が問題。人口を増やす中で使用量も増やし、又、補助金も確保する中で運営可能な取りが求められている。

質問 少しずつ、幾らでも手をつけていくという計画はないのか。

村長 補助金も減額されてきている。予算を確保するなかで仕事をしたい。

質問 伊那谷、豊丘村周辺も全体的に水量が不足していると言われている。リニア開通、三遠南信道に伴う人口増に対して水が足りるのか疑問視されている。いよいよ足りないという事になれば建設も必要になってくる事も否定出来ない。

質問 安全、安心な水に加えておいしい水の取り組みについて。

質問 安全、安心な水に加えておいしい水の取り組みについて。

質問 今後の水道事業として安全安心な水道

水の供給のためにも水道管の布設替えも大事

北部・南部の布設替えにどの位かかるのか

答 28億円かかる 長期的計画が必要

質問 今後のこの事業の見通しと財源確保をどう考えるのか。

村長 豊丘村の人口が少なく収入が上がらない事が問題。人口を増やす中で使用量も増やし、又、補助金も確保する中で運営可能な取りが求められている。

質問 少しずつ、幾らでも手をつけていくという計画はないのか。

村長 補助金も減額されてきている。予算を確保するなかで仕事をしたい。



発生土は谷に埋めるべきではない

答 JRは丁寧な説明をずるとしている

唐澤 健 議員

質問 リニア工事に伴う残土の戸中、本山の発生土置き場は虻川上流でありその下流域には、南小があり、発生土は谷に埋めるべきではない。JRは下流域の了解を得て進めると再三回答しているが、村長 JR東海は下流域の了解を得ると言っているのではなく丁寧な説明すると言っている。



トンネル作業口：上野原市



残土を埋めた沢：上野原市 金波美沢

教育長 現在豊丘村での大学生の奨学金は5万円が上限で、日本学生支援機構との併用可能額においても、この近辺では最も利用しやすいものになっている。現行で活用願いたい。入学金、学費の貸与は金融機関の

奨学金返済は本人所得300万円まで猶予を

答 規則15条を柔軟に運用

質問 貸与額について、大学生の5万以内を引き上げるとは出来ないか。また、入学金、学費の貸与の創設をさげたい。更に償還は、奨学生が一定の収入以上になるまで猶予する又は奨学生の収入に応じて期間を延長するのはどうか。

ローンで対応してもらいたい。

質問 償還免除について、精神もしくは身体の障害により労働能力を喪失、又は労働能力に高度の制限を有し、返還できなくなつたときを追加されたい。加えて延滞利息を14.6%から5%以下にされたい。

教育長 償還免除に心身障害の規定は検討したい。延滞利息は他の税制との整合性を考え14.6%を9.1%に変えていく。

質問 そこで、以上の原資として、ふるさと納税を使用し、奨学金基金を創設してはどうか。

村長 今のところ基金化する考えはないが、今後、ふるさと納税の様子によっては、研究する価値はある。

消防団員手当を 国基準に増額を

答 正副団長・分団長は多く支給

質問 団員報酬は年額25000円となつているが、交付税算入額の36500円へ。次に、出動交付金は1日6700円を、地方交付税算入額の7000円としては。

総務課長 団員報酬は議員の言われる通りだが、正副団長、正副分団長は、交付税算入額より高い。低い部分のみの団員報酬のみの改定は考えていない。



認知症対策への取り組みは

答 理解を深め、地域一体の体制を

酒井 浩文 議員

質問 高齢化が進行するなか、村でも認知症の方が増加している。認知症高齢者の行方不明対策も今後の課題である。認知症発症者の増加が予想される将来に向け、村が行っている取り組みは。

健康福祉課長 認知症につながる生活習慣病予防の学習会・認知症サポーターと認知症キャラバンメイトの養成講習会・見守りネットワーク・認知症カフェ・認知症初期集中支援チームによるサポート事業等、認知症施策を行っている。

質問 住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには、その地域の力が重要であり、その仕掛けをどう引き出すかがカギである。視察研修で訪問した新潟県湯沢町では、本人の望む生活の維持や家族への支援を中心に、お互いに支えあ

る地域づくりを具現化していた。村は今後、住民参加の協働活動や支援にどう取り組んでいくのか。

健康福祉課長 認知症サポーターやキャラバンメイトの育成を通じて、認知症の理解を深めていただきたいと考えている。湯沢町のアクション農園のような、農作業による活動など、地域リーダーが起す事業を支援する体制も整えたい。

質問 湯沢町の特徴的な施策の一つとして「認知症ケアパス」（認知症手引書）がある。

校庭・園庭等の芝生化の現状と展望は

答 保育園の園庭から始めたい

これは、介護者、介護サービス機関の職員等、様々な所属の方がアイデアを出し合い作成したものである。認知症情報や活動を、わかりやすく共有できる手引書の作成を期待する。

健康福祉課長 村には現在、認知症施策を住民の皆さんにわかりやすく発信できるものがない。介護者や住民、介護支援に関わる職員等が一緒に、今後早い段階で作成したい。将来は認知症サポーター養成講座のテキストとしても活用したい。

質問 芝生化の効果は、子ども本来の遊びの本能を呼び覚まし、子どもたちが自発的に遊びを引き出す「場」し

かけの代表的なものとして注目されているが、管理面やコスト面で実現できないのが実情である。村内施設の芝生

化の現状と、芝生化事業展開の計画は。

中心に、3園の遊具の設置以降、検討を進める。



社会文教委員会で認知症の取り組みの視察（新潟県湯沢町）

起業支援事業の現状は

答 現在は1件

質問 現在の事業の進捗状況と、起業者の状況はどうか。

携し起業に必要な専門的な知識の取得に必要な支援・助言・相談に対応できる体制を整え、新規起業から創業後までの支援を行っている。現在1件の申請があり、採択されている。

産業建設課長 新規起業支援の具体的な支援策として、行政と商工会が中心となり、金融機関や各関係機関と連

携し起業に必要な専門的な知識の取得に必要な支援・助言・相談に対応できる体制を整え、新規起業から創業後までの支援を行っている。現在1件の申請があり、採択されている。



補助金創設の手法に意義あり

答 全く問題ない

滝川 利秋 議員



村の六法全書といえる例規集

質問 昨年12月議会で地域おこし協力隊員の方の任期満了後、村に残ったの起業に対する助成金212万円、今年6月議会では、天恵製菓さんの工場排水の処理に対する補助金5000万円はどちらもその時点では、抛出の元となる規則、制度のない状態で予算づけられ、後になって「創業支援制度補助金」「工場排水処理施設整備補助

金交付規則」が作られ、議会へ報告された。どちらにも、後づけだ。議会のチェックが甘いと批判は受けるとして、一個人や一企業に対して税金を使う助成金を出し、その後法整備をするという手法は間違いだと思うが、**村長** 全く問題ない。行政はそういう進め方が基本、普通だ。大きな例を挙げれば、天皇陛下の生前退位の

残土処分候補地、県は2ヶ所と言っているが

答 源道地は後からJRが提案

質問 村ではリニア工事残土の処分候補地として、本山更生会、戸中、源道地の3ヶ所を

県へ報告したと公表して来たが、県の担当者に直接会って調査した所、源道地は入ってお

らず、2ヶ所のみとの事。どちらが真実か。**総務課長** 村として最初に候補地を挙げた事業リストに入っていないのは確か。源道地は後からJRからの提案により追加として挙げた。当初無いのは事実。

井水の境界再々度要望

答 多額な費用、最小限で

質問 水利組合ごとの境界を作る様2回程提案して来た。国の国土

ら、当面は必要最小限の整備を考えている。**要望** 長土連の技術屋さんや測量屋さんでは各井水の受益地の境界はわからない。多面的

違と思う。**質問** 規則の報告について。**総務課長** 補助事業の創設や拡充を行なう場合、最終的には予算の議決を頂き、規則要綱を交付してから発効。その場合、広報やホームページを通じ、必ず広報している。

り組み状況の説明を。**産業建設課長** 水利組合の台帳と水路台帳の整備の重要性は感じている。国、県の採択条件に水路台帳が必須となっており、長土連へ台帳整備の業務委託を協議しており、多額な費用も見込まれる事か

事業で村中の水利組合関係者が顔を揃える今、境界のわかる諸先輩が健在な今、村が協力すればゼロ予算でできる。呼びかけと実行を！





認知症に村民理解の必要あり

答 支援体制により徐々に

竹村 直子 議員



参加者多数のサポーター講座

質問 5月に起きた認知症と思われる方の死亡事故についての受け止めは。
村長 残念な結果。情報を捉えておれば捜索範囲もスムーズに指定できたかも。認知症に対するフォローが出来るよう、健康福祉課を中心に取組む。

質問 同様の事故を防ぐには、認知症への村民の理解を深める必要がある。国の認知症施策推進総合戦略新オレンジプランへの取組みは。
健康福祉課長 認知症サポーター養成講座を6月30日現在339人が受講済。サ

認知症地域支援推進員、早急に配置を

答 平成30年から

ポーター講座の講師となるキャラバンメイト養成講座を9月22日に開催予定。今年5月、中学2年生対象にサポーター講座を実施し、高齢者施設や独り暮らし高齢者の訪問等してもらっている。
認知症初期集中支援

チームによる相談受付。認知症カフェや今度新たにケアラーズカフェも計画あり。
見守りネットワークとして、コープながのに加え、新聞販売店3社、郵便局3局、タクシー会社1社とも協定を結ぶ。

介護事業所との情報共有化、地域ケア会議での課題抽出等で生活支援の事業検討を行う。12月予定の高齢者ニーズ調査も施策に活かしたい。
以上、新オレンジプランに沿った支援体制を徐々に構築している。

質問 普及啓発促進には、認知症サポーターの増員、サポーター講座の企画・運営をするキャラバンメイトの養成が必要。また、新オレンジプランに、医療介護、地域支援体制の構築を推進する認知症地域支援推進員を平成30年から全市町村に配置するとあるが、稀に見る事故が発生したことを考慮し1日も早く置くべきと考える。

健康福祉課長 30年までは設置する。
質問 認知症や高齢者に優しい地域づくりを進めるには、村民の協力が不可欠だが、体制の作り方は。
健康福祉課長 自分の、あるいは家族の問題と捉えて、学んでほしい。個人、隣組、自治会等出来ることについて考えてほしい。



9/22 キャラバンメイト養成講座

健康福祉課長 30年までは設置する。
質問 認知症や高齢者に優しい地域づくりを進めるには、村民の協力が不可欠だが、体制の作り方は。
健康福祉課長 自分の、あるいは家族の問題と捉えて、学んでほしい。個人、隣組、自治会等出来ることについて考えてほしい。

健康福祉課長 30年までは設置する。
質問 認知症や高齢者に優しい地域づくりを進めるには、村民の協力が不可欠だが、体制の作り方は。
健康福祉課長 自分の、あるいは家族の問題と捉えて、学んでほしい。個人、隣組、自治会等出来ることについて考えてほしい。



防災意識の向上への取り組みは

答 対策マニュアルの作成を検討している

井原 康明 議員

質問 先の台風10号では東北地方に甚大な被害が生じた。報道では避難準備情報や避難警告など発令されなかったとか、住民がその意味を知らなかったとも報道がされた。防災意識の指導で、地域住民への指導はどの様に行っているか。

総務課長 区を中心に地域別の対応をお願いしている。地震・風水害での避難行動等は、それぞれ地形、状況により違うことから、各地区の協力を得るなかで、災害別、地域別の対策マニュアルの作成を考えており、安全に避難行動を取れる様に考えている。

質問 岩手県では福祉施設での甚大な被害が生じたが、当村での各福祉施設への指導はどの様に行っているか。

総務課長 村内の5つの施設に対し避難準備情報等の発令時の対応

質問 危険管理上で重要な役割のある設備で「デジタル防災行政無線」が当村でも完備されているが、現在1設備が自動車事故による器具落下などの損傷がある。修理は。

総務課長 事故の発生を受けて。現場調査し保守委託を業者に出しその後部品発注の流れであり、3か月位は必要だ。

質問 修理期間が長い、その間の有事には対応が出来ない為、設備器具の予備(在庫)を持つことは出来ないか。

総務課長 設置業者の在庫、あるいは新規製造であり、村では予備品の確保はしていない。

質問 北部5町村で共有しての在庫確保は出来ないか。

総務課長 賞味期限は5年である。村では緊急浄水器を保有しており、1時間に4トンの

備蓄飲料水を有効的に分配出来ないか 答 いろいろなという地区もある

質問 防災用の備蓄飲料水を1年位の賞味期限を残し、各区へ更新時に支給している。賞味期限はどの位の物がまた、更新サイクルを2年で考え、賞味期限が2年残っているものを各地区に支給出来ないか。

総務課長 賞味期限は5年である。村では緊急浄水器を保有しており、1時間に4トンの



機具交換が待たれる防災無線

「避難準備情報」
ある程度増水が見込

「避難指示」
河川の水位が上昇して越水の危機が迫っている時に発令

「避難指示」
該当地区のすべての方が強制的に避難の必要がある時に発令

「避難指示」
村民の皆様、改めて勧告等の内容を理解して早めの対応を取りましょう。



「村の駅」周辺の土地利用計画の考えは

答 伊那谷全体をどうデザインするかによる

片桐 忠彦 議員

質問 今議会の冒頭村長は挨拶の中で「村の駅はショッピングモールとして村の中心的施設」との考えを示された。

今後、新万年橋架橋、三遠南信道の進捗、リニア開業等踏まえる中で、この核を生かした、6次産業の村づくりとしての施策、村の駅周辺の土地利用をどのように考えているのか。思いを伺う。村の考えを早めに出し、大いに議論する必要がある。村長 豊丘村のみなら

リニア個人の苦情要望の対応は

答 区が最初の相談窓口

質問 村は、リニアに対する意見要望補償の交渉は、区がJRや中電と直接対応し、要望の実施状況の検証や対応内容の判断も、区が行うとの説明であった。

区以外の団体等も、各団体が行うのか。リニア対策委員会での

ず、この伊那谷全体の発展に寄与できる、それだけの、そのポテンシャルのあるものになりたい。具体的なものが出てくるものもあるが、この問題については、素人だけで考えていても、とても考え出せるものではない。このリニアに合わせ、この伊那谷全体をどうデザインしていくかという中に、この豊丘村の道の駅もはめていく必要があるかと思っている。

意見要望等だが責任を持つて対応するのか、見えにくい。村がしっかりと関わるべきと考える。村長 補償は、JR東海がそれぞれの利害者と交渉する。その判断は、利害者本人となるが、すべてを地元任せにするつもり

ではない。中には、個人の利害関係で、村が口出しできない事もありますが、村もしっかりと対応していきたいと考える。リニア対策委員会では、団体が自由に発言できる場となる様に心がけている。村としても意見を聞く中で、JR東海への要望等を出し、明確な対応を求めていく。質問 村民の方が、JR等への要望を、村のリニア対策室にお願いした場合、村はそれに関係区へ戻し、区に対応させるのか。また、JR、中電との話を文書で交わす場合、名前はだれになるのか。総務課長 工事が始まるからの苦情等は、区なりが最初の相談窓口になって、区の見解と区のやり方、それから区があるから、区が決めたいかと思

受けて対応しても、地元はもう対応をされている場合が往々にしてある。そう対応する考え。

橋の長寿命化に伴う地元負担は

答 地元負担金なしと考える

質問 村の橋梁の長寿命化計画では、村内全12

2橋中の経年劣化が進行している。96橋を修繕計画の対象としている。長寿命化は、計画的に補修を行い、橋の寿命を延ばし、経費削減を計るもの。当面は重要度の高い1級路線から行われるので、地元負担金はかからないが、今後、2、3級の道路橋になれば、負担金がかかってくる。

これは、区からの要望が有る、無しに関わらず村が計画

当然約束事は文書として交わす。どんな文書にしているかはこれから詰める必要がある。

的に行う事業。負担金0にはならないか。産業建設課長 長寿命化計画に基づく道路橋梁修繕工事は、基本的に幅員を拡張することは困難であることから、維持管理規定による、原型復旧工事の扱いとなると思うので、地元負担金はないと考えている。

これは、区からの要望が有る、無しに関わらず村が計画



長寿命化の補修が待たれる村内の橋 (橋を下から撮影 矢印の箇所ひびが入り鉄筋の錆が出ている、橋の桁)



就学援助制度の一層の改善を

答 入学時の負担軽減等考えたい

唐澤 啓六 議員

質問 本年第1回定例会で就学援助について質問したが、その後本年度のとりくみと改善の方向について質問する。



希望に胸をふくらませ

①本年度適用状況は。②本制度は「義務教育は無償とする」という憲法の理念からみても非常に重要な制度であり、制度の中味をしっかり周知することが大切である。又、支給時期早期化のためにも、周知の時期を早めることが必

要と考えるが現状は。③支援を必要とする全ての子どもに制度の適用が必要である。第1回定例会では、支給対象者の要件に生活保護基準に連動する項目を追加するよう求めた。

質問 現行支給要件の1つに住民税非課税があるが、住民税均等割レベルの年収より生活保護基準における最低生活費が高額となるからである。検討状況について伺う。

質問 厚生労働省が進める第7期介護保険事業計画の中で、要介護2までの軽度者への福祉用具貸与を保険利用から外す素案を示している。車イス等福祉用具は要介護者が在宅生活していくために重要な役割を果たすと共に、介護者の負担軽減にも役立っている。

福祉用具の利用に村の支援を 答 前向きな姿勢で考えたい

質問 村単独事業として福祉用具利用に1/2補助をしているが、保険

数の6.3%であり、前年度より1.6%増となっている。県平均は10.8%、全国平均は15.4%である。②募集チラシは4月初めに小中全世帯に配布しているが、申請書は希望者のみで4月末までに学校に提出してもらっている。



福祉用具で大きなサポートを

③生活保護連動要件を採用している近隣市町村は高森町のみだが、今年度この要件での適用はないと聞いている。基準の中に、学校長が民生委員が特に必要とする場合という特例要件があるので、当面はこれに対応していく。教育長 ランドセルの購入補助等新入時の支援をしているが、更に特別に支援を必要とする家庭については研究してみたい。

村長 入学時における負担軽減のためプラスアルファとして何ができるか考えたい。

村長 厚労省の論議は現在のところ継続中であり、決定ではない。今後、国の方針が示された段階で村の単独事業の必要性について前向きな姿勢で考えたい。



平成27年度決算の主要指数は

答 経常収支比率他は概ね良好

松下 亨 議員

水質の現状と課題は

答 すべて基準値以内で安全な水

質問 平成27年度決算について、実質収支など主要な決算指数の要点はどのようになっているか。

総務課長 経常収支比率は73%で若干下がっているが概ね良好。実質公債費比率は3・8%で良好な数値。詳しくは10月の広報に掲載。

質問 決算内容は総じて良い内容と一定の評価をする。一方、人件費や物件費の経常経費は増加しているの留意を。今後の財政運営はどのような点に配慮して行うか。

村長 定住人口の増加策や6次産業の推進、子育て支援策など、

国・県の動向を見ながら堅実な中にも積極的に取り組んでいく。
指摘 これまでは順調な行政運営を行ってきた。今後、大きな費用をかけて「村の駅」を建設予定のようだが、財政面からも注目していく。

質問 本村の水道水は「美味しくない」「白い付着物がでる」など、よい印象が持たれていない。この状況を打開するためには「今、何が必要か」を考えてみたい。まず、水質の現状と課題についてどのように認識しているか。

良い方向に向かっていく。

「豊丘の水」であったこと。③「豊丘の水」は白い付着物が気になる。

環境課長 水質はすべて基準値以内であり安全な水と理解している。課題は伴野の硝酸性窒素の値だが、少しずつ

質問 今回、個人的に飯田市・高森町・豊丘村の水道水について「試験」を行ってみたい。対象者は河野地区の子育て世代を中心にした女性15人。実際に飲み比べていた結果、次の特徴が判明した。①一番おいしいと感じた水は「豊丘の水」であったこと。②一番消毒の臭いが少ない水

このように、豊丘の水の課題は白く残る付着物（蒸発残留物）と考えるが、この解決には何が必要と考えるか。
村長 ろ過装置を設置すれば改善できるが多額の費用がかかる。費用対効果の問題もあり皆で考える必要がある。
提案 では「今、何が

必要か」。それは、①白い付着物はミネラル成分であって健康には影響がないこと。②専門家に豊丘の水を診断してもらおう。③結果はシンポジウムなど開いて全村民で共有する。

④対策に必要な費用を示して皆で方向を考えていく。いずれにしろ今、必要なことは現状の放置でなく、皆で正しい情報を共有して、皆で考えることだと思う。



村の水道水の多くは地下水を各配水池へ一旦ポンプアップし各家庭へ



リニア工事、村は万全な対策を

答 きめ細かに対応 住民不安払拭に努める

片桐 義憲 議員

質問 長期にわたるリニア工事。今後住民は大きな負荷、生活苦を余儀無くされる。JR東海と、住民のパイプ役としての村の対応が重要である。両者の風通しの良い環境の醸成が図られる様、努力されたい。

今まで村に寄せられている、JR、中電の対応や、住民不安の声、内容について、又、新たな動き、情報につい



7/15 上野原市リニアトンネル作業口

てお伺いしたい。
総務課長 住民からの心配ごとの相談はほとんど無いが、今後増えてくる事は確か。住民不安を取り除けるような丁寧な対応と、JRへの対策に取り組む。又JRは、関係地権者への説明会を行う中で、測量調査の立ち入り同意をお願いしている。ボーリング、地質調査を行う中で、詳細設計をまとめている現

状と聞いている。
坂島非常口近接地の村有地については調査許可を与えている。又伊那山地トンネル工区では工事発注が行われていると聞いている。
質問 発生土処分地に於いては、JRの長期的な管理を求めたい。地権者が不安と一番思っている部分。考えを伺う。
村長 地権者も、埋め立て後返されても、その後の災害等心配されるのは当然。安全な発生土置場を造成させる事は当然として、後の管理についても、良策を検討し、要望していく。



7/15 笛吹市花鳥山展望台より

産業建設課長 私有地ではあるが、所有者にその責任は無いと解す。又一般車両の通行の安全性が確保される改修工事を要望していく。
キャンプ場もあり工事車両の通行制限の措置も必要かと考えている。最終的には改修部分は村道に編入する為、道路構造令に沿った改良を要望していく。
質問 工事進捗に伴い多種業者の参入がある

為、相談、対策の窓口が分散化されない様、事業主体であるJRは真摯な対応をされる様、強く要望する。
村長 問題に対しての責任のありどころ、その判断を下すところはどこか、などいろいろ考えられる。それぞれの状況、又問題について、住民不安を払拭していくことが村の仕事と考えている。



コミュニティスクールの目的は

答 子ども達の生きる力の向上にある

松村 正三 議員

質問 ここ2、3年、コミュニティスクールという耳新しい言葉、村民の皆さんにとつては、これって何なんだ、学校で何かするのかと、理解に至らない部分が多々あると思われる

しかし、多くの方の理解と協力を得なければ成立しないこの事業。コミュニティスクールとは何かという点から説明願いたい。

教育長 本年度から、地域が学校を応援する仕組みとして、コミュニティスクールを導入した。

その目的とするところは、子ども達の生きる力と地域の教育力の向上であり、これらの向上を図れるような仕組みとしての制度で、

具体的には、地域住民による学校支援ボランティアが、学校活動のさまざまな場面で、先生の教育実践活動などを応援するというのが基本となっている。

地域の事を皮膚感覚で知っている地域のボランティアの方が先生を助ける。

それが、教育内容を豊かにし、学習意欲を高



小学校の教室見守り活動の様子

学校支援ボランティア活動の現状は

答 見守り、部活等様々な協力あり

質問 この事業すでに

4月からスタートして半年、学校支援ボランティアは、120人を超える皆さんの協力参加をしていただいでい

るとのこと。

そうした多くの方の支援を得てのスクールの活動は、どのようなものか興味深いものを感じるが、現状はいか

が。

教育長 内容としては小学校での授業の見守り、放課後学習や夏休みの宿題支援、クラブ活動、中学校での本の

め、生きる力の向上が図られると思っっている。

読み聞かせ、部活などをはじめ、様々な内容について活動協力をいただいでいる。

肝心なのは、ボランティア活動がどのように行われ、学校の中でどんな変化が起きているのか。それがその地域でどんな変化につながっているのかというところが、一番重要なことと思っっている。

この事業を通じ、村民の多くの皆さんに学校に関心を持つていただき、学校の中を知つていただくことで、開かれた学校づくりにつなげていきたい。

あまり事を急がないで、自然に地域の中で、学校の中に根付いていくようにということを前提にしながら、いろんな方にボランティアをお願ひしているのが現状だ。

質問 今後はどのような展開になるのか

教育長 中学生ボランティア活動を支援し、子ども達が自主的に地域に向きボランティア活動を行うことで、自己有用感を育成する機会となるとともに、人とつながり、社会をつくる力を育む機会とする。

この事業は、コミュニティスクールと並行し、車の両輪のごとく展開していく。

県へ要請活動

新万年橋架橋へ一歩前進

議長 下平豊久

北部ブロック町村議会は、長野県知事・県議会議長への要望・提言・陳情活動を9月21日長野県庁で行った。

この要請活動には、議長・副議長・事務局長が参加し北部五町村16名参加の下実施された。

長野県知事への要望・提言活動では、例年県知事に一括して行っていたが、本年は、県民文化部、健康福祉部、教育委員会、観光部、建設部の各部長に直接要望・提言活動をする新しい方法で実施され、その成果が大いに期待されるところである。

県議会向山議長への陳情活動では、14項目の陳情書を提出した。

また、県議会各委員長への陳情活動では豊丘村議会は、県民文化



北部ブロック町村議会県陳情活動（知事を囲んで）

健康福祉委員会を担当し、小池久長委員長に對して5項目を面談し要望をした。

奥村建設部長は、仮称「新万年橋」について、6月に流況解析調査は完了し、29年度事業化へ向けた飯田建設事務所と天竜川上流河川事務所間で、橋梁建設位置等の協議を鋭意実施中であると言及され、架橋実現へ向けて着実に前進している事を確信した。

「知の拠点」構想って何？

初 豊丘村議会が学習会を開く

副議長 川野孝子

たびたび新聞報道に取り上げられている、南信州広域連合が取り組む「知の拠点」構想について、9月23日、豊丘村議会では初の広域連合事務局長の渡邊嘉蔵さんを招いて学習会を行った。

広域連合としては、リニア開通を見据えて大きな交流圏が出来ることを考え平成26年度から「知の拠点」の基本構想を作ってきた。

平成27年3月基本計画を作った。ひとつとして研究開発の拠点として産業センターの拡充(移転)。ふたつめとして高等教育機関として信大との共同研究講座を「知の拠点」構想として旧飯田工業高校施設の利活用を県へ働きかけてきた。県としても、旧飯田工業高校の後利用の課題もありタイミンが合致したと考えられる。

こうした中、9月16

日広域連合は旧飯田工業高校の主要5棟のうち3棟は無償譲渡を、2棟と土地は無償貸与を受ける契約を県と結んだ。3棟については、来年4月開設を目指す信大の航空機システム共同研究講座で活用する。改修費の3億円については確保済み。

2期、3期の工事分(15億6千万円)は今後有利な財源を確保し市町村負担を軽減させたとしている。

又、飯田産業センターも旧飯田工業高校へ移転機能強化を計るとしているが、議員からは、食品産業づくりの研究、新産業分野への挑戦を積極的に取組んでもらいたいという意見も出された。

この学習会を通して「知の拠点」構想が身近な重要課題として受けとめることが出来た。

リニア工事その後は？山梨県の現状を視察

…議会 リニア特別委員会活動報告…

委員長 酒井 浩文

7月15日の第4回委員会は、工事完了後の状況と問題点の確認のため、山梨実験線周辺の現地視察を行った。7月27日の第5回委員会では、現地視察を踏まえて意見交換を行った。第6回委員会では、質問に対するJRの回答の報告を受け、今後のリニア工事及びその後の環境変化等、今後の課題について協議した。

◆残土処分地の現状

境川発生土置場、金波美沢(かなはみさわ)発生土置場、大平地区(発生土の活用)の3か所を視察し、現状と経過等についてJR担当者より説明を受けた。現在は道路が整備され、土も安定した状況

◆工事中に水枯れした河川の現状

境川のトンネル坑口の水枯れした沢の現状を確認した。工事直後枯れた沢には水が流れ、簡易の給水管は撤去されていた。

◆リニア走行と変電施設の現状

花鳥山展望台およびリニア見学センターにて、走行実験中のリニアのスピード感、風圧、騒音を体感した。高速走行時の振動騒音が予想より大きいため、遮音フードが必要

である。また停車時のゴム臭が気になる。変電所周辺の騒音は低周波の音が建物周辺で聞こえるが、さほど気にはならない。

◆経過と今後の動き

・村のリニア対策委員会は、5月18日以来開催していない。10月中に開催予定。
・戸中地区は、JRによる地権者への説明会が開催され、現在地権者へ測量の立ち入り同意をお願いしている。
・本山地区は、地権者

の立ち入り調査の許可を受け、現在JRがボーリング調査等の地質調査を行って、詳細設計をしている。
・坂島の非常口は、JRが計画しているヤード候補地の地権者が村であり、現在JRが現地調査をしている。
・坂島非常口から大鹿側へ向けた伊那山地トンネル工事は、建設業者の契約手続きをしている。間もなく決まる予定。
・戸中地区の非常口ヤードの候補地は、9月8日に地権者、地元関係者に対して、ヤードの事業内容についての説明会があり、用地取得の協議を始めた。
・壬生沢の坑口は、JRがヤード候補地等の検討をしているが、今のところ具体的な動きはない。



大平地区残土置場の上を水田利用している(道路右側)

東信の直売所、道の駅先進地を視察

村の駅とよおか(仮称)特別委員会報告 委員長 片桐 忠彦

今回は、6月28日議会として、初めて道の駅の先進地を視察したので、その報告をする。視察先については、1日で数か所視察でき、それぞれ特徴がある所として、東信から3ヶ所を選定し、視察した。

上田市の直売所 「丸子農産物直売加工センターあさつゆ」

ここは、旧丸子町で

現在は上田市。その市道沿いに有る。道の駅の登録は無く、直売所、食堂、加工施設である。

建設面積650㎡、駐車台数60台、事業費1億6千3百万円。

売上は全体で27年度3億2千万円余。

施設は公設民営で、施設の管理運営は「あさつゆ運営組合」が指定管理を請け、行っている。市に、施設の借り賃として、27年度は170万円余を支払っている。

組合加入は、入会出資金として個人2万円、年会費3千円を払う。販売手数料は基本は17

%となっている。

「あさつゆ」の考え方は「競争なくして進歩なし」、三つの自由を保障するとしている。三つの自由とは「①販売価格は原則自由。②出荷量は自由。③自由な荷姿、単位での販売」、これが無いと「創意工夫

が出ない」とし、これらの基本的な考えで、運営されている。店の場所取りも早い者順。

夏の葉物は1日売れなければ、バックヤードに下げ持ち帰らせる等の決めがある。

組合長からは、施設を素人の自分たちで設計したので失敗箇所が多かった。休憩室なく、

バックヤードが小さい、雨対策等々、施設は大

東御市の道の駅「雷電くるみの里」

ここは、旧東部町で

現在は東御市。県道小諸上田線沿いに有る。施設には、雷電資料館が併設されている。駐

車場は、大型車20台普通車102台と広い。

この施設も、公設民営で、施設の管理運営は「雷電くるみの里」が指定管理を請け運営

している。道の駅であり、市から指定管理料150万円を会社が頂

いている。

直売所は、入会金1万円、年会費3千円、販売手数料は、組合員

15%となっている。

この考え方は、「道の駅は地域振興に重要な存在」また「直売所

は、地元で採れた物を自分で売ることが重視

し、品が不足しても外から安易に入れない。

売れるからと言って他

大きくしておくべきとのこと。

所から仕入れて売っても、この情報発信にはならない」と考えている。

葉物は当日限り、売れ残りはバックヤードに下げ、生産者が持ち

帰る。今は、実績も上がり高齢者の方も多く

出荷し、健康につながっている。また新規就農

者も増えている。

販売価格は生産者が設定するが、価格委員会が週1回チェックす

る仕組みで、近くのスーパー、

ベイシアより安くとしている。

売り上げ実績は、27年度5億

4千万円弱、農産物31%、食堂

17%、お土産51%、自販機1%

とのこと。観光

帰りの客層が多

い。お土産の売り上げが多く、経営的に恵まれている。しかし、農産物の出荷数量の確保や、周年安定的な出荷を目指し、会社で独自の補助施策をだしている。

視察を通じ、施設の考え方をしっかり持ち共有すること、直売所においては、申し合わせ事項を組合員でしっかり決めておく必要があると感じた。

なお3か所目の、「道の駅あおき」青木村は紙面の都合で次回とさせていただきます。



上田市の直売所「あさつゆ」正面

陳情

建設労働者の適正賃金確保、TPP 情報開示など

総務産建委員会報告

委員長 井原康明

9月定例会に於いて委員会に付託された議案及び陳情について審査の内容を報告する。(委員会審査9月9日)

議案第42号・43号の

関連概要

を課し、税率は3%としようとするもの。

審査の結果

全会一致で可決

(賛成6・反対0)

審査にあたって

本議案は法令整備に基づくもので通達の時期の質問や、なぜ今台湾か、など意見もあつたが通達は全国一斉であり、台湾については中国との条約の中に含まれていなかったとのこと。他には特に反対意見もなく可決とした。

議案第43号

国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

主な内容

特例適用利子又は特例適用配当を算入する

特例適用利子又は特例適用配当の課税関連で、台湾居住者が支払を受ける一定の利子・配当について申告義務

得金額に含めようとするものである。

審査の結果

全会一致で可決

(賛成6・反対0)

審査にあたって

本案についても42号案との関連で、特に質問等はなく、可決した。

陳情第3号

公共工事設計労務単価の引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める陳情

陳情者

飯下建設産業

労働組合連合会 会長

壬生 一さん他1名

審査の結果

全会一致で採択

(賛成6・反対0)

審査にあたって

最近の建設業界における、資材、人件費等の高騰は周辺でもよく耳にし、内容については理解ができ、建設業

にとつても人材確保は地域の発展からも重要な事だ。また、議会の対処や、関わりについても議論を行い、議会から行政に要請を図る事として採択とした。

陳情第4号

TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情。

陳情者

みなみ信州農業協同組合

代表理事組合長

田内市人さん他1名

先のTPP特別委員

審査の結果

全会一致で採択

(賛成6・反対0)

審査にあたって

陳情内容については、十分理解でき、情報開示は大変重要なことでもあるなど意見があつた。特に反対の意見もなく全会一致で採択とした。



公共工事(道路)の現場

陳情

給付型奨学金の拡充他、条例の審査

社会文教委員会報告

委員長 松下 亨

9月定例会に於いて、付託された条例改正案1件と陳情1件について審査した。概要について報告する。(委員会審査9月2日)

豊丘村の自然と開発行為との調和に関する条例の一部を改正する条例を可決

内容

この条例第12条について、開発を抑制する区域についても必要に応じ環境保全審議会に諮問する事項を追加するもの。

審査中の意見

今回の改正は、本条

例の規則を制定する中で不備が判明したため

改正するものであり、一部改正は必要であるなど。

審査結果

全員一致で可決とする。

「コミュニティースクール等の先進地視察

去る8月25・26日に、

松本市の高綱中学校と上越市のコミュニティースクール(概説II地域住民が積極的に学校運営参画する)と、新潟県湯沢町の認知症

対策の視察を行った。

以下、紙面の都合から高綱中学校の視察報告とする。

○取組経過

平成25年度から信州型十松本版でスタート。

○運営委員会

高綱中学校区(3地区公民館・2小学校)を対象に、地区公民館長はじめ環境整備や学習支援の代表など20名で組織。

○取組内容

環境整備、読書・ふれあい支援、学習支援、文化スポーツ支援等。

○支援ボランティア

PTA・地域住民、松本大学の先生と学生等。

○視察の感想

- ①校区内に松本大学があり、先生や学生による学習支援等で成果を上げている。
- ②最初から無理をしない取り組みが印象的。
- ③事業名や仕組みは変わっても、地域で学校を支え子供を育てることに変わりが無い。本村でも、より多くの住民の皆さんが積極的に参画されんことを期待する。

奨学金の拡充等を求める意見書の採択を求める陳情を採択

陳情の概要

○陳情者

日本労働組合総連合会 長野県連合会

中山千弘さん他2名

○内容

能力や意欲がある学生が経済的理由で進学を断念することがないよう、給付型奨学金の

拡充等3項目の実現に向けた意見書を、国会等に提出することを求めるもの。

○審査中の意見

政府でも無利子奨学金について希望者全員を対象にする検討をしている。その後押しになる。

○非正規社員の中には生活も厳しく個人破産する人もいる。

○審査結果

全員一致で可決とする。



社会文教委員会で松本の高綱中を視察(8月25日)

みんなのページ

シリーズ

私がんばっています



グループan.jane代表
松尾玲子さん
(下市場)

グループ「アン・ジャネ」で届けた支援物資で救われた命・生活が幾つもあります。これからも多くの人々が力添え下さる事で、更に沢山の生活困難者の命が救われます。

今、手を差し出すことで助かる命に間に合わなかったという思いをしたくない。このように地域内の方々にお伝えしたのが平成23年はじめのことでグループ発足の思いです。その後、変化してゆく世相と共に支援対象者も活動内容も広がり、就労支援の為の出労や支援活動を理解して頂く為の講演活動への連携等を行ない今に至ります。

最近の傾向として、車上生活者、派遣切りによる失職者に加えて一人親世帯の子供の貧困への支援が増加しています。特にそこへの食料支援では皆様からの物資支援が大きく寄与しています。とよおかまつりで物資支援の御理解の為の啓蒙活動をさせて頂くようになってから今年で5回目となります。本年11月

「大丈夫案じゃあねえ」の気持ちでもつたいないをありがとうに。

のとよおかまつりにも「ほほゆめP・J」の旗の下ブースを設けます。2日間とも「生活クラブ生協豊丘支部ブース」内にも支援物資コーナーを設置し、フリードライブを行います。御協力をお願い致します。

寄贈を受ける食品

- ・消費する見込みがなく、賞味期限が1ヶ月以上ある食品。(缶詰、カップ麺等)
- ・お米(古米、玄米、白米)
- ・防災備品の入れ替え食品
- ・お盆、法事等消費しない引き出物

※未開封で、破損し中身が出ていないもの

○提供方法

寄贈され集まった食品は「アン・ジャネ」から「ほほゆめP・J」生活就労支援センター「まいさほ飯田」を通じ、生活に困窮し、食料を必要としている方々に届けます。

編集後記

今年の9月は雨が多く、「稲刈りが出来んなあ」と、気をもんだ方が多いのではないのでしょうか。台風の影響か、倒れている稲が多い気がします。実家の田んぼを一枚全部手で刈ることに、筋肉痛と闘いながら手伝う中で、高齢者が支える農業の大変さを痛感しました。不死身の丈夫な体があればとか、魔法が使えたらなんてつい考えてしまいます。

魔法が使えたら、リニア残土を温暖化で海に沈みそうな島国へ運ぶのもよいですね。9月7日信濃毎日新聞の建設票に、そんな投稿がありました。不可能なことなのでしょいか。

(竹村直子)

発行責任者

議長 下平 豊久

編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平澤 恒雄 |
| 副委員長 | 竹村 直子 |
| 委員 | 片桐 忠彦 |
| 委員 | 滝川 利秋 |
| 委員 | 川野 孝子 |